

株式会社東芝 横浜事業所 生産技術センター サイトレポート情報	
所在地	横浜市磯子区新磯子町33番地
敷地面積	40,123 m ² 、建家面積：50,103 m ² 、緑化率 16.4 %
設立	1970年4月、従業員：692人（2013年3月現在）
主要製品	生産技術に関する研究開発及び設備開発ならびに 建築物等に関する企画、設計、監理ならびに技術指導
ISO14001認証取得	1997年2月、最新更新年月：2012年7月 (ISO認証番号：EC97J1072)



ごあいさつ

生産技術センターは、東芝グループのモノづくりのセンターとして、「モノづくりに関する技術・しくみの研究開発」、「モノづくりのあるべき姿の発信」、「技術・しくみのタイムリーな提供」をミッションとしています。
そして「かけがいのない地球環境」を健全な状態で次世代に引き継ぐため、環境への取り組みを経営の最重要課題として位置付け、「環境調和型生産技術の開発」と「事業プロセスでの環境負荷低減」を推進する「環境経営」を全員参加で展開しています。



環境保全責任者 森 郁夫

2012年度の環境の主な取組み

- ☆環境調和型生産技術の創造と東芝グループへの成果発信
成果発信：生産技術フェア 8件、東芝環境展 4件。
環境活動賞：優れた研究テーマ、装置開発を表彰。2012年度は業界No.1効率のLED電球の開発、家電製品の省エネ用モーター駆動マイコンの開発、高生産性ウェットエッチング装置開発における電力使用量削減の3件を表彰。
- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
1997年4月に認証取得、2012年7月に横浜事業所との統合認証をし、4回目の更新。
- ☆CO2排出量の削減
エネルギー起源のCO2排出量を2010年度（当センター基準年）比、2012年度は13%削減。
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
2001年度から継続中。2012年度の最終処分率は、0.09%。
- ☆全員参加・啓発活動の展開
環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動。
- ☆地域との協調
地域への各種環境行事の参加、清掃ボランティア 等。

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

多種多様な東芝グループ製品のモノづくりを進化させるため、8つのコアとなる技術の研究開発に取り組んでいます。

- | | |
|--|--|
| ◆薄膜プロセス技術
ドライプロセス技術、ウェットプロセス技術 … | ◆部品製造技術
精密加工、金型・成形、塗装・コーティング、数値解析、… |
| ◆高密度実装技術
高周波回路設計、SMT (Surface Mount Technology) … | ◆制御技術
モーター・アクチュエータ、インバータ … |
| ◆光技術
光学設計、リソグラフィ、レーザ、検査・画像処理技術 … | ◆メカトロニクス技術
機構設計技術、機構制御技術 … |
| ◆品質技術
信頼性技術、統計的工程管理、調達技術 … | ◆生産システム技術
グローバルSCM、CIM/生産管理、生産シミュレーション… |

駐在部門である生産企画部建設担当とともに環境に配慮した研究、技術開発を推進しています。

2013年度 (株)東芝 横浜事業所 環境方針

横浜事業所は、原子力事業に関わるエンジニアリング部門・技術開発部門、並びに、材料・部品・電子デバイスの設計・製造部門、最先端の生産技術の研究開発部門、建築設計部門、光記録装置の開発部門、ストレージデバイス機器の研究開発部門を有する多様な事業環境の集合体です。当事業所は、この事業環境、及び東京湾に面した立地環境を踏まえて環境保全を経営の最重要課題の一つと位置付け、環境に配慮した研究開発並びに製品作りを行い、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指して、持続可能な社会の実現に貢献すると共に、より良い地球環境を創造します。

1. 当事業所の事業活動、研究開発、製品、建築設計及びサービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境保全活動の実績を踏まえて技術的・経済的に可能な環境目的・環境目標を設定及び定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムとその環境パフォーマンスの継続的改善に全員で取り組みます。
2. 環境保全に関する法令、環境保全協定、東芝グループ第5次環境アクションプラン、当事業所が受入に同意した企業行動指針、顧客要求事項、その他の要求事項を順守すると共に、自主管理基準を設けて環境保全のレベル向上を推進します。
3. 事業活動が環境に及ぼす負荷を低減及び汚染を予防するため、次の活動を推進します。
 - 1) 高効率機器の導入、工場・事業場判断基準の順守などによるエネルギー使用の効率化及びCO₂排出量の抑制
 - 2) 廃棄物総発生量の抑制及び廃棄物ゼロエミッションの継続
 - 3) 化学物質の管理徹底及び排出量の削減
4. 本来業務における環境配慮活動を積極的に推進します。
 - 1) 研究開発及びエンジニアリング業務における環境配慮
 - 2) 環境調和型製品の開発、提供
 - 3) 環境調和型生産技術の研究開発、建設設計のサービスの提供
 - 4) スタッフ及びサービス業務における環境配慮
 - 5) グリーン調達の推進
5. 東京湾閉鎖性海域に隣接した立地環境を認識し排水管理を充実させると共に、生物多様性の保全を考慮して、地域社会と密着した環境コミュニケーションを継続的に行ない、地域への貢献と協調を図ります。
6. 環境への取組状況を環境報告書等を通じて積極的に公開します。
7. 所内全従業員は環境教育などを通して、環境方針の理解と環境保全に対する意識を向上し、行動を実践すると共に、環境管理の先導者の自覚を持って、その家族の啓発活動を行います。

～ この環境方針は社内外に公開します ～

改定 2013-06-01

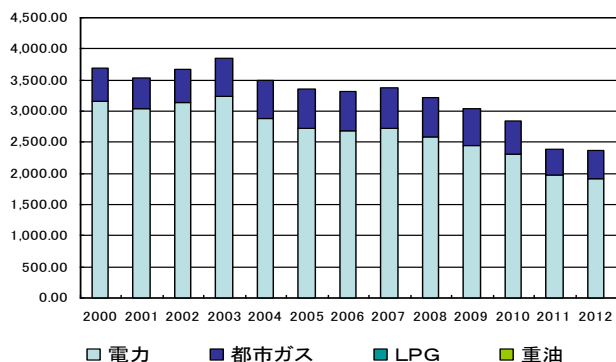
eco スタイル

(株)東芝 横浜事業所
環境保全責任者

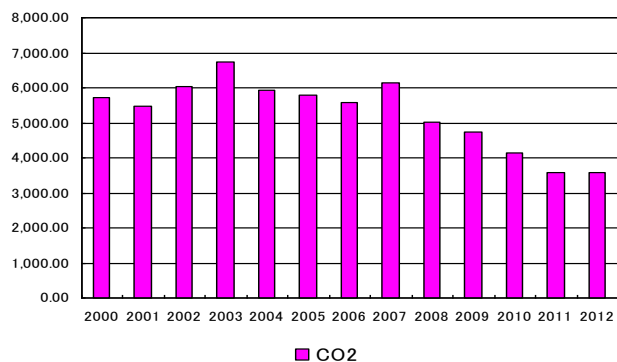
小林薫平

環境負荷データ

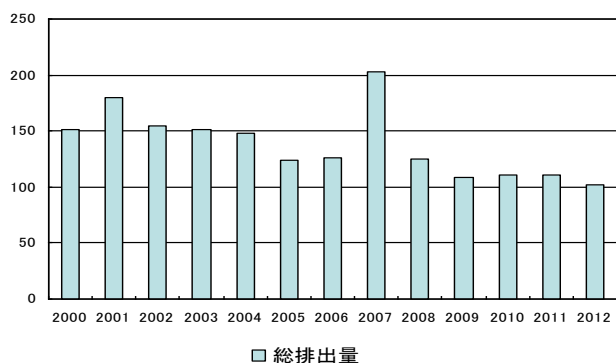
エネルギー使用量(単位:KL)



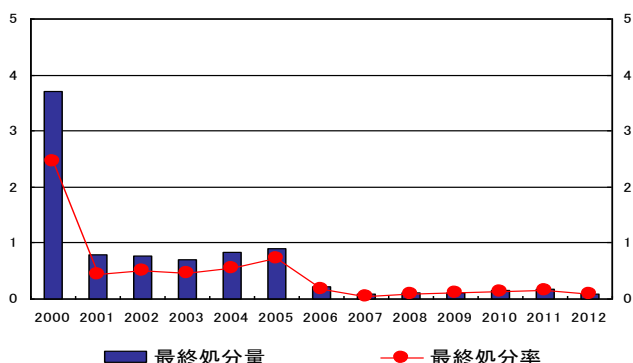
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

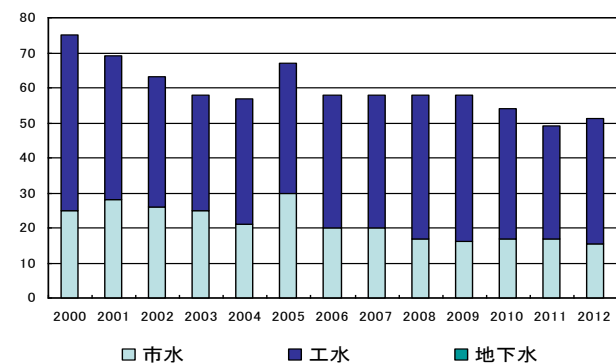


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

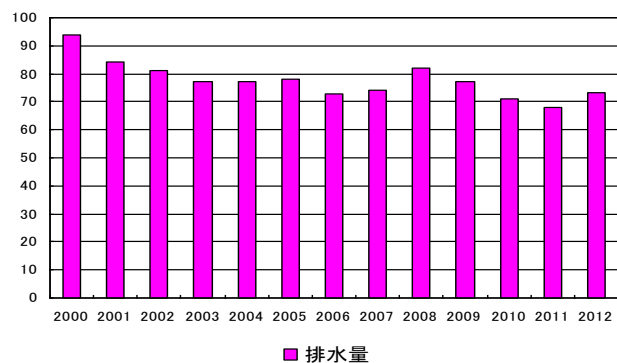


主な廃棄物名: 廃酸、汚泥、金属くず、ガラスくず、プラスチック類等

水の使用量(単位:千m³)



排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)

非該当

化学物質削減対象物質の排出量(トン)

非該当

遵法管理状況

<大気測定結果> 多管式小型貫流ボイラー(都市ガス使用) 3台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	45	44	32~40	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> 最終排水口、東京湾へ放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.0~8.4(協定値)	6.5~8.3	7.5~7.9	月1回および連続
BOD(mg/ℓ)	25(協定値)	15	~4	月1回
COD(mg/ℓ)	25(協定値)	15	~6	月1回
SS(mg/ℓ)	20(協定値)	10	~3	月1回
窒素(mg/ℓ)	25(協定値)	10	~6	月1回および連続
フッ素(mg/ℓ)	10(協定値)	5	定量限界以下	月1回

<騒音・振動測定結果> (特定施設なし、工業専用地域にて法規制対象外、自主管理として昼間騒音・振動を測定)

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界: 昼	75(市条例値)	74	55.3~66.5	年2回
	敷地境界: 夜	—	—	—	—
振動(dB)	敷地境界: 昼	70(市条例値)	59	35.3~42.6	年2回
	敷地境界: 夜	—	—	—	—

<その他測定結果> (下水道法:非該当)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

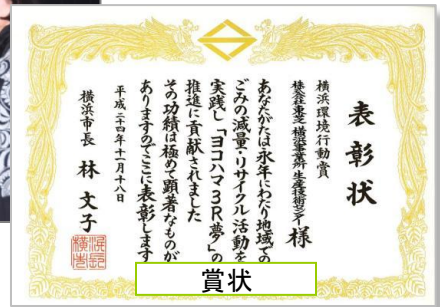
環境コミュニケーションの紹介

<横浜環境行動賞受賞を横浜市長より受領>

環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動を積極的に行っており、平成20年からは地域の方々が環境を考えるきっかけとなるように、区役所と協働し「環境パネル展」や「環境映画上映会」を実施しています。また、事業所周辺の清掃活動を日常的に行い、環境美化活動に貢献していることが評価され、横浜環境行動賞を受賞しました。



受賞式



賞状

<磯子区環境パネル展出展>

環境月間に開催される磯子区環境パネル展に出展しています。生産技術センターの環境活動を区民の皆さんに紹介しています。

(実施概要)

- ・日時: 2012年6月2日～8日
- ・主催: 磯子区環境を考える会
- ・共催: 磯子区役所地域振興課資源化推進担当
磯子区役所区政推進課企画調整係



展示パネル

<環境月間映画上映会>

環境月間に磯子区役所と共催で環境映画上映会を開催しています。対象は磯子区に住む小学生と保護者の方々です。2012年で5回目となり、今年は「カーズ2」を上映しました。上映会の前に「横浜3R夢プラン**」についての紹介がありました。

(実施概要)

- ・日時: 2012年6月23日
- ・会場: 横浜市磯子区役所
磯子区役所地域振興課資源化推進担当、東芝生産技術センター共催

**横浜3R夢プラン(よこはま すりむ ぷらん): 3Rの推進、特に環境にやさしいリデュース(発生抑制)の取組を進めて、ごみと資源の総排出量を削減し、環境負荷の更なる低減を図ることで、豊かな環境を後世に引き継ぎ、こどもたちが将来に「夢」を持つことのできる社会の実現に取り組む横浜市の活動



横浜3R夢プランの紹介



上映前の会場

<所外清掃活動>

当センターのスタッフ部門では毎月1回、事業場周辺の道路の清掃を実施しています。この活動を横浜市が実施している「ハマロード・サポーター*」制度に登録しています。この活動に対して、2011年12月に横浜市長より感謝状をいただきました。この活動は今後も継続していきます。

(実施概要)

- ・活動期間: 2008年3月に登録、継続中
- ・参加部門: 総務、経理、調達、施設管理のスタッフ部門
- ・参加人員: 24名

*ハマロード・サポーター: 横浜市が主催する身近な道路の清掃や美化活動等を行うボランティア制度



清掃風景



参加者集合写真